英文法 L01 第 12 講 命令文・there 構文・形式主語 it

学習目標

- 命令文の肯定形と否定形を区別し、相手に求める行動に合った形を選ぶことができる。
- there is / there are の後ろに続く名詞を確認し、適切な be 動詞を選ぶことができる。
- 天候・時刻を表す非人称 it と、後ろの内容を受ける形式主語 it の役割を区別できる。

1. 命令文：相手に行動を求める文

命令文とは

命令文とは、相手に何かをするよう求めたり、しないよう求めたりする文である。

基本的な命令文は、動詞の原形から始める。通常、主語の you は書かない。

命令文の基本形

肯定の命令文

相手に「〜しなさい」「〜してください」と伝えるときは、動詞の原形から始める。

形：動詞の原形 ＋ … .

Open the door.

ドアを開けなさい。

この文では、Open が動詞の原形である。命令文では、相手が 1 人でも複数でも、動詞に三単現の-s を付けない。

Please open the door.

ドアを開けてください。

please を添えると、丁寧な依頼を表すことができる。

否定の命令文

相手に「〜するな」「〜しないでください」と伝えるときは、動詞の原形の前に Don't を置く。

形：Don't ＋ 動詞の原形 ＋ … .

Don't open the door.

ドアを開けないでください。

肯定の命令文と否定の命令文は、次のように対応する。

肯定の命令文	否定の命令文
Open the door.	Don't open the door.
ドアを開けなさい。	ドアを開けないでください。

Don't は Do not を短くした形である。

be 動詞を使う命令文

「静かにして」「遅れないで」など、状態について伝える場合は be 動詞の原形 be を使う。

Be quiet.

静かにしなさい。

Don't be late.

遅れないでください。

通常の肯定文では、主語に応じて am・is・are を使い分ける。しかし、命令文では主語に関係なく be を使う。

否定の命令文も Don't be の形にする。

命令文の判断

- 「〜して」と行動を求める場合は、動詞の原形から始める。
- 「〜しないで」と禁止する場合は、Don't ＋ 動詞の原形を使う。
- be 動詞を使う命令文は、Be … / Don't be … の形になる。

2. there 構文：ものや人の存在を表す文

there 構文とは

there 構文とは、「〜がある」「〜がいる」という存在を述べる表現である。

基本形は There is … / There are … である。この講では、標準的な書き言葉の現在形を扱う。

文頭の there は、この構文では特定の場所を表す「そこに」という意味ではなく、ものや人の存在を導入する働きを持つ。

there is と there are の使い分け

後ろの名詞が単数の場合

There is a book on the desk.

机の上に本が 1 冊ある。

There is の後ろには a book という単数名詞がある。

後ろに続く名詞が単数なら、基本的に is を使う。

形：There is ＋ 単数名詞 ＋ … .

後ろの名詞が複数の場合

There are two books on the desk.

机の上に本が 2 冊ある。

There are の後ろには two books という複数名詞がある。

後ろに続く名詞が複数なら、基本的に are を使う。

形：There are ＋ 複数名詞 ＋ … .

数えられない名詞の場合

water（水）のように、基本的に数えられない名詞は不可算名詞という。

There is some water in the glass.

コップの中に水がいくらかある。

water は不可算名詞なので、この場合は is を使う。

後ろに続く名詞	be 動詞	例
単数名詞	is	There is a chair.
複数名詞	are	There are two chairs.
不可算名詞	is	There is some water.

各例文の訳は次のとおりである。

- There is a chair.：椅子が 1 脚ある。
- There are two chairs.：椅子が 2 脚ある。
- There is some water.：水がいくらかある。

there 構文では、文頭の there ではなく、その後ろに続く名詞の数や種類を確認することが重要である。

there 構文の判断

there is / there are を選ぶときは、後ろの名詞を見る。

- a book などの単数名詞 → is
- two books などの複数名詞 → are
- water などの不可算名詞 → is

「存在するものが何か」を確認してから be 動詞を決める。

3. it の 2 つの役割：非人称 it と形式主語 it

非人称 it とは

非人称 it とは、天候や時刻などを表すときに使う it である。

特定の人やものを指すのではなく、英語の文に必要な主語の位置を満たす働きを持つ。

非人称 it の基本

天候を表す it

It is sunny today.

今日は晴れだ。

It is cold outside.

外は寒い。

この it は、何か特定のものを指しているわけではない。

天候や気温など、周囲の状況を述べるために使われている。

時刻を表す it

It is five o'clock now.

今は 5 時だ。

この it も、特定のものを指す代名詞ではない。

時刻を表す文の主語として使われている。

天候・時刻を表すこれらの it を、非人称 it という。

形式主語 it とは

形式主語 it とは、本来主語に相当する内容を文の後ろに置き、その代わりに文頭の主語の位置を占める it である。

後ろに置いた内容について、「簡単だ」「大切だ」などと評価するときに使う。

形式主語 it の基本

まず、次の英語のまとまりを確認する。

to read this book

この本を読むこと

ここでは、to ＋ 動詞の原形で「〜すること」という意味のまとまりを作ると考えればよい。

このまとまり全体について「簡単だ」と述べると、次の文になる。

It is easy to read this book.

この本を読むことは簡単だ。

この文の it は、特定のものを指していない。

また、天候や時刻を表す非人称 it でもない。

文頭の It が主語の位置を占め、後ろの to read this book が「簡単だ」と評価される内容を表している。

つまり、次の対応関係がある。

文中の部分	働き
It	主語の位置を占める形式主語
is easy	「簡単だ」という評価
to read this book	「この本を読むこと」という評価される内容

It is easy to read this book.

この本を読むことは簡単だ。

この文では、It と to read this book を無関係なものとして読まず、後ろの内容を It が仮に受けていると捉える。

同じ形で、別の評価も表せる。

It is important to study English.

英語を勉強することは大切だ。

important は「大切な」という意味である。

この文でも、形式主語 It を置き、後ろの to study English（英語を勉強すること）を評価している。

4 つの働きの理解図

英文が何を伝えているかによって、文の始め方が変わる。

働き	英文	和訳	判断のポイント
動作を促す	Open the door.	ドアを開けなさい。	動詞の原形 Open から始まる
存在を導入	There are two cups here.	ここにコップが 2 つある。	後ろの two cups に合わせて are を使う
天候・時刻を述べる	It is cold today.	今日は寒い。	非人称 it。特定のものを指さない
後ろの内容を評価する	It is easy to read this book.	この本を読むことは簡単だ。	形式主語 it。後ろの to read this book が評価される内容

時刻を表す場合も非人称 it を使う。

It is six o'clock.

6 時だ。

非人称 it と形式主語 it は、どちらも特定のものを直接指さないが、働きは異なる。

- 非人称 it：天候や時刻などを述べる文の主語になる。
- 形式主語 it：後ろに置いた内容を仮に受ける主語になる。

It is easy to read this book.では、easy（簡単だ）と評価されているのは、後ろの to read this book（この本を読むこと）である。

4. 例題

1

図書館で友達に「静かにして」と頼みたい。空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

Please (　　) quiet in the library.

- A. is
- B. are
- C. be
- D. being

解答・解説

正解
C. be

完成文・全訳
Please be quiet in the library.

図書館では静かにしてください。

判断の決め手
「静かにして」と相手に求めているので、命令文を使う。

命令文では動詞の原形を使う。be 動詞の場合、原形は be である。

Please の後ろに be を置くことで、丁寧に行動を求める文になる。

各選択肢の理由
- **A. is：誤り。** is は be 動詞の現在形であり、命令文で必要な原形ではない。
- **B. are：誤り。** are も be 動詞の現在形であり、命令文では使わない。
- **C. be：正しい。** be 動詞の原形なので、Please be quiet という命令文が成立する。
- **D. being：誤り。** being は be の-ing 形であり、この命令文の動詞の位置には使えない。

2

空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

There (　　) three tall trees near the gate.

- A. are
- B. is
- C. am
- D. be

解答・解説

正解
A. are

完成文・全訳
There are three tall trees near the gate.

門の近くに背の高い木が 3 本ある。

判断の決め手
「〜がある」という存在を表すため、there 構文を使う。

there の後ろの名詞は three tall trees である。

trees は複数形なので、be 動詞は are を選ぶ。

各選択肢の理由
- **A. are：正しい。** 後ろの three tall trees が複数なので、There are の形になる。
- **B. is：誤り。** is は単数名詞や不可算名詞に対応する形であり、ここでは複数名詞 trees に合わない。
- **C. am：誤り。** am は通常 I を主語とする文で使う形であり、この there 構文には使えない。
- **D. be：誤り。** be は原形であり、ここで必要な現在形の be 動詞ではない。

3

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

It is easy (　　) this book.

- A. read
- B. to reading
- C. to reads
- D. to read

解答・解説

正解
D. to read

完成文・全訳
It is easy to read this book.

この本を読むことは簡単だ。

判断の決め手
「この本を読むこと」という意味のまとまりは、to read this book である。

to の後ろには動詞の原形 read を置く。

この文の It は形式主語であり、後ろの to read this book を仮に受けている。

easy（簡単だ）と評価されているのは、「この本を読むこと」である。

各選択肢の理由
- **A. read：誤り**。 read だけでは、ここで必要な「この本を読むこと」というまとまりを作れない。
- **B. to reading：誤り**。 この形では to の後ろに動詞の原形を置くため、reading は使えない。
- **C. to reads：誤り**。 reads は三単現の-s が付いた形であり、to の後ろには置けない。
- **D. to read：正しい**。 to ＋ 動詞の原形で「読むこと」という意味のまとまりを作り、形式主語 It の後ろに置くことができる。

演習問題

次の各問について、空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

1

授業中、先生が生徒に指示する。空所に入る最も適切な語を選べ。

(　　) your English book to page ten, please.

- A. Opens
- B. Open
- C. Opening
- D. To open

2

美術館で、展示されている絵に触れないよう来館者に注意する。空所に入る最も適切な語句を選べ。

(　　) touch the paintings in this room.

- A. Do not
- B. Does not
- C. Not
- D. No

©ミライコーチング

3

友達に遅刻しないよう伝えたい。空所に入る最も適切な語句を選べ。

(　　) late for the school meeting tomorrow.

- A. Be
- B. Doesn't be
- C. Don't
- D. Don't be

4

空所に入る最も適切な語を選べ。

There (　　) a large desk near the window.

- A. are
- B. be
- C. is
- D. am

5

空所に入る最も適切な語を選べ。

There (　　) three small dogs under that tree.

- A. is
- B. are
- C. am
- D. be

6

空所に入る最も適切な語を選べ。

There (　　) some water in the bottle.

- A. are
- B. am
- C. be
- D. is

©ミライコーチング

7

特定の物の冷たさではなく、今朝の屋外の寒さを述べる。空所に入る最も適切な語を選べ。

(　　) is very cold outside this morning.

- A. This
- B. There
- C. It
- D. They

8

特定の物を指しているのではなく、現在時刻を述べる。空所に入る最も適切な語を選べ。

(　　) is seven o'clock now in Tokyo.

- A. It
- B. This
- C. They
- D. There

9

特定の物を指す代名詞を使わず、行為への評価を述べる。空所に入る最も適切な語を選べ。

(　　) is hard to open this box.

- A. There
- B. It
- C. They
- D. This

10

空所に入る最も適切な語句を選べ。

It is important (　　) your hands before meals.

- A. to washing
- B. washes
- C. to wash
- D. wash

©ミライコーチング

演習問題の解答・解説

1

正解
B. Open

完成文・全訳
Open your English book to page ten, please.

英語の教科書の 10 ページを開いてください。

判断の決め手
先生が生徒に行動を指示しているため、命令文を使う。

命令文では、文頭に動詞の原形を置く。

open の原形は open なので、B が正しい。

各選択肢の理由
- **A. Opens：誤り**。 Opens は三単現の-s が付いた形であり、命令文の文頭には使えない。
- **B. Open：正しい**。 動詞の原形なので、相手に教科書を開くよう求める命令文になる。
- **C. Opening：誤り**。 Opening は-ing 形であり、ここでは命令文の動詞として使えない。
- **D. To open：誤り**。 To open は to ＋ 動詞の原形のまとまりであり、この位置で単独の命令文を作ることはできない。

2

正解
A. Do not

完成文・全訳
Do not touch the paintings in this room.

この部屋の絵に触れないでください。

判断の決め手
「触れないでください」という禁止を表すため、否定の命令文を使う。

否定の命令文は Don't ＋ 動詞の原形で作る。

Do not は Don't の省略しない形なので、Do not touch が正しい。

各選択肢の理由
- **A. Do not：正しい**。 Do not ＋ 動詞の原形 touch で、禁止を表す命令文になる。
- **B. Does not：誤り**。 Does not は三人称単数の主語を伴う一般動詞の否定文で使う形であり、命令文の文頭には使わない。
- **C. Not：誤り**。 Not touch だけでは、通常の否定命令文を作れない。
- **D. No：誤り**。 No touch the paintings という語順では、正しい否定の命令文にならない。

3

正解
D. Don't be

完成文・全訳
Don't be late for the school meeting tomorrow.

明日の学校の集まりに遅れないでください。

判断の決め手
「遅れないで」と求めているので、否定の命令文を作る。

late は「遅れて」という状態を表す形容詞である。

状態を表す be 動詞の否定命令文は Don't be ＋ 形容詞の形になる。

各選択肢の理由
- **A. Be：誤り。** Be late なら「遅れなさい」という肯定の命令文になり、求められた意味と反対になる。
- **B. Doesn't be：誤り。** be 動詞の否定命令文は Doesn't be ではなく Don't be で作る。
- **C. Don't：誤り。** Don't late では、Don't の後ろに必要な動詞の原形がなく、文が成立しない。
- **D. Don't be：正しい。** Don't be late で「遅れないで」という禁止を表すことができる。

4

正解
C. is

完成文・全訳
There is a large desk near the window.

窓の近くに大きな机が 1 台ある。

判断の決め手
「机がある」という存在を表すので、there 構文を使う。

there の後ろには a large desk という単数名詞が続く。

後ろの名詞が単数なので、be 動詞は is になる。

各選択肢の理由
- **A. are：誤り。** are は複数名詞に対応する形であり、単数の a large desk には合わない。
- **B. be：誤り。** be は原形であり、ここで必要な現在形の be 動詞ではない。
- **C. is：正しい。** 後ろの a large desk が単数なので、There is が成立する。
- **D. am：誤り。** am は通常 I を主語とする文で使い、この there 構文には使えない。

5

正解
B. are

完成文・全訳
There are three small dogs under that tree.

あの木の下に小さな犬が 3 匹いる。

判断の決め手
犬が「いる」という存在を表すため、there 構文を使う。

there の後ろの three small dogs は複数名詞である。

したがって、be 動詞は are を選ぶ。

各選択肢の理由
- **A. is：誤り。** is は単数名詞や不可算名詞に対応する形であり、複数の dogs には合わない。
- **B. are：正しい。** three small dogs が複数なので、There are が適切である。
- **C. am：誤り。** am は通常 I に対応する形であり、この there 構文では使えない。
- **D. be：誤り。** be は原形であり、ここでは現在形の are が必要である。

©ミライコーチング

6

正解
D. is

完成文・全訳
There is some water in the bottle.

ボトルの中に水がいくらかある。

判断の決め手
water は基本的に数えられない不可算名詞である。

there 構文では、後ろに不可算名詞が続く場合、基本的に is を使う。

some が付いていても、water を複数名詞として扱うわけではない。

各選択肢の理由
- **A. are：誤り。** are は複数名詞に対応する形であり、不可算名詞 water には合わない。
- **B. am：誤り。** am は通常 I に対応する形であり、この there 構文では使えない。
- **C. be：誤り。** be は原形なので、この文で必要な現在形にはならない。
- **D. is：正しい。** 不可算名詞 water に対応するため、There is が適切である。

7

正解
C. It

完成文・全訳
It is very cold outside this morning.

今朝は外がとても寒い。

判断の決め手
この文は、特定の物についてではなく、今朝の天候を述べている。

天候や気温を表す場合は、非人称 it を主語にする。

そのため、It is very cold が正しい。

各選択肢の理由
- **A. This：誤り。** This は「これ」という指示代名詞であり、何かを指す場合に使う。ここでは特定の物ではなく天候を述べている。
- **B. There：誤り。** there 構文はものや人の存在を導入する形であり、There is very cold という形では天候を表せない。
- **C. It：正しい。** 非人称 it として、特定のものを指さずに天候を表すことができる。
- **D. They：誤り。** They は複数の人やものを指す代名詞であり、単数形の is にも合わない。

8

正解
A. It

完成文・全訳
It is seven o'clock now in Tokyo.

東京では今 7 時だ。

判断の決め手
この文は、何か特定のものではなく、現在の時刻を述べている。

時刻を表す基本表現では、非人称 it を使う。

It is seven o'clock で「7 時だ」という意味になる。

各選択肢の理由
- **A. It：正しい。** 非人称 it として、時刻を表す文の主語になる。
- **B. This：誤り。** This は特定のものを指す表現であり、今回のように現在時刻だけを述べる場合には使わない。
- **C. They：誤り。** They は複数の人やものを指すため、時刻を表す非人称 it の代わりにはならず、is とも一致しない。
- **D. There：誤り。** there 構文は存在を述べるための表現であり、There is seven o'clock という形では現在時刻を表せない。

9

正解
B. It

完成文・全訳
It is hard to open this box.

この箱を開けることは難しい。

判断の決め手
「難しい」と評価されているのは、箱そのものではなく、「この箱を開けること」である。

to open this box が評価される内容を表している。

文頭の It は、この後ろの内容を仮に受ける形式主語である。

天候・時刻を表す非人称 it とは役割が異なる。

各選択肢の理由
- **A. There：誤り。** There is hard to open this box という形では、存在を表す there 構文にも、行為を評価する文にもならない。
- **B. It：正しい。** 形式主語 It を置き、後ろの to open this box について hard（難しい）と評価できる。
- **C. They：誤り。** They は複数の人やものを指す代名詞であり、is とも一致せず、この形式主語の形を作れない。
- **D. This：誤り。** This は特定のものを指す表現である。今回の文では、後ろの to open this box を評価する形式主語が必要であり、This ではその構造にならない。

10

正解
C. to wash

完成文・全訳
It is important to wash your hands before meals.

食事の前に手を洗うことは大切だ。

判断の決め手
「食事の前に手を洗うこと」という意味のまとまりが必要である。

to ＋ 動詞の原形で「〜すること」という意味のまとまりを作る。

wash の原形は wash なので、to wash を選ぶ。

この文の It は形式主語であり、後ろの to wash your hands before meals が「大切だ」と評価される内容を表す。

各選択肢の理由

- **A. to washing：誤り**。 ここでは to ＋ 動詞の原形を使うので、washing ではなく wash を置く。
- **B. washes：誤り**。 washes は三単現の-s が付いた形であり、ここで必要な「洗うこと」というまとまりを作れない。
- **C. to wash：正しい**。 to ＋ 動詞の原形で「洗うこと」という意味のまとまりを作り、形式主語 It の後ろに置ける。
- **D. wash：誤り**。 動詞の原形 wash だけでは、ここで必要な「洗うこと」というまとまりにならない。